
春

上村 秋男

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春

【Nコード】

N5864Z

【作者名】

上村 秋男

【あらすじ】

ある大学生の思考をとらえたエッセイ

外はまだ暗く、寒い。

冬の午前6時前、人材派遣会社のアルバイトに行く為に遥貴は家を出なくてはならなかった。遥貴の父はバブル時代に今では考えられない価格で30年のローンを組み、東京駅まで1時間以内で行ける郊外のベッドタウンに家を構えた。遥貴は中産階級のごく普通の家庭で育った。そしてさほど勉強せず普通に普通の大学に進学した。

入学してすぐに、すっかり勉強して良い大学に入れば良かったと後悔した。そのまま3年間なんとなく大学に通い、もう取り返しのつかない状況となってしまう、しぶしぶ就活をはじめた。社交的な性格ではなく大学時代の大半をパチンコとセックスに費やした。遥貴は女と付き合う意味の大半をセックスをする事だと考えている。アルバイトをして金を稼ぎパチンコとセックスに費やす、その繰り返しで3年過ぎ去った。繰り返しでは何も残らない。

今日もパチンコとセックスをするために、早朝にアルバイトに出掛けなければならない。遥貴はこんなに早くアルバイトに行くなんて偉いと思い、すがすがしい気持ちでいる。はたからみれば完全なあほだ。未来や客観的な視点で自分を見ればどんなに人生は楽で楽しいものになるのだろうか、遥貴はいまだに自分の本能のままに生きている。もうすぐ春なろうとしてるのに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5864z/>

春

2011年12月19日18時53分発行